



YouTube
Live 配信

参加無料

2022

2/5



19時～20時30分

生命の海科学館 YouTube チャンネルから視聴いただけます
※配信後も YouTube チャンネルで視聴可能です

オンライン講演会

よみがえるインカクジラ

第一部

3D 技術を活用した古生物復元



講師

足寄動物化石博物館 学芸員
北海道大学総合博物館 資料部研究員

新村 龍也 さん

蒲郡市生命の海科学館のホールには、インカクジラの全身骨格が産出したままの姿で展示されています。こう言った化石を見ると、いったいどの様な姿をしていたのだろうか？と思う方も多いでしょう。古生物を生きていた当時の姿に復元するためには、まず変形した骨格を元に戻し、その骨格に軟組織を復元する作業が必要です。近年、3D 技術の進歩で、3D モデルにした骨格にパソコン上で軟組織を造形して生体を復元することが簡単にできるようになってきました。この講演では、その 3D 技術、それを活用した古生物、特にインカクジラの復元を紹介します。

第二部

インカクジラが解き明かすヒゲクジラの大進化



講師

国立科学博物館
地学研究部 生命進化史研究グループ長
筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授

甲能 直樹 さん

蒲郡市生命の海科学館のホールに展示されているインカクジラは、およそ 750 万年前のペルー南部の近海に生息していたヒゲクジラで、2016 年に新属新種として記載されました。インカクジラは、ナガスクジラに近縁な体長 8m ほどの小さなヒゲクジラですが、このインカクジラを詳しく調べることで、ナガスクジラ類が多様化する過程で何が起こったのかを知ることができます。講演では、インカクジラの研究過程や学名に込められた意味についても紹介したいと思います。

生命の海科学館のイントランスに横たわる、約 750 万年前のインカクジラの化石。インカクジラは 2016 年に新属新種として記載されました。一体、彼らはどのような姿でどのように生活をしていたのでしょうか。
本講演会では最新の研究成果をもとに世界でまだ二頭しか発見されていないインカクジラの生態やクジラの進化についてせまります。また、最新の 3D 技術を使って復元された姿も初公開します。

新しく復元された姿を初公開します!

インカクジラ・アニリョデフエゴ

Incakujira anillodefuego

申込不要です

当日ご自宅などからご自由に視聴いただけます

通信にかかる費用はおお客様のご負担になります。Wifi 環境でのご視聴をお勧めします。
詳細ページ <https://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/incakujira2022.html>

YouTube

生命の海科学館



詳細ページ

地球 46 億年、あなたにつながるストーリー



蒲郡市生命の海科学館

◀◀◀ がまごおりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町17番17号

開館時間：9時～17時（最終入館は16時30分）

お問い合わせ

☎ 0533-66-1717